

令和2年度事業報告

令和2年度の国内経済は、令和2年1月以降の新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大により、これに翻弄された1年であった。いまだその終息が見えぬ中、政府においては各種の助成措置を講じるなど経済対策を実施したものの厳しい状況にあった。先行きについては、感染拡大の防止策を講じるなかで、世界の貿易は落ち込む前の水準を回復するなど海外経済の改善もあつて、持ち直しの動きが続くことが期待されているが、内外の感染拡大により下振れのリスクの高まりに十分に注意する必要がある。また、九州管内の経済については、新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、持ち直しに向けたテンポは穏やかであるとの見方があるものの、熊本県においては、コロナ禍が全業種に影響を与え、経済打撃に収束の見通しが立たないなか、熊本地震からの復旧・復興需要の剥落や令和2年7月豪雨災害による県南地域の打撃などにより多くの企業で厳しい経営環境に置かれたところである。

このような中、熊本県内のトラック運送事業においては、コロナ禍や自然災害の影響を受けた輸出入関連業種、民間建設投資関連業種、森林資源関連業種等に従事する会員事業者においては輸送量が減少したものの、消費者の「巣ごもり需要」に支えられて輸送量の減少が比較的抑えられた会員事業者がいるなど輸送の需要の二極化が見られたところである。国内において本格的な少子高齢化社会が進展するなか、運転手不足への対応は重要な課題で、コロナ禍に伴う労働力の流動が高まり有効求人倍率は改善したものの、長期的には労働力の不足は否めないなか改善基準告示の見直しの議論も活発化したところである。また、コンプライアンスの徹底等の課題対応に加え新型コロナウイルス感染症拡大による急激な景気減速もあり、各事業者の経営環境は引き続き厳しい状況にあった。

これらの状況を背景に、政府（国土交通省等）においては、平成30年12月に貨物自動車運送事業法の改正が行われ、昨年4月24日にこのうちの目玉施策である「標準的な運賃制度」の告示があったところである。

しかしながら、トラック運送業界が待ち望んだ制度ではあるが、その施行後に新型コロナウイルス感染症が拡大した影響もあり、「B TO B」取引を中心に荷動きが低下し、業績不振に喘ぐ荷主への配慮もあり、いまだ荷主企業との運賃交渉に十分に臨める経済環境になく、運賃・料金の変更届出に躊躇している会員事業者も少なからずあったところである。

このため、当協会としては、コロナ禍であるとはいえ、低賃金で長時間労働である運転手の労働条件を改善し、魅力ある職場づくりを進めることは重要で、さらには標準的な運賃制度が令和5年度末までの時限措置であることを踏まえ、国土交通省や全日本トラック協会と連携し、持続可能な物流の実現に向けて、「標準的な運賃制度」の普及・周知のために会員事業者向けのセミナーの開催や荷主企業への周知活動に取り組みを行った。

また、トラック運送業界だけでは改善困難な長時間労働の抑制や適正運賃収受に向けた取り組みについては、国等に対しては、全ト協と連携し、自動車関係諸税の簡素化・軽減、高速道路料金の更なる引下げ、働き方改革実現のための諸対策に係る補助・助成の拡充等に関する要望を、熊本県に対しては、公益社団法人熊本県トラック協会総合防災センターの建設、コロナ禍で苦境にある会員企業への支援、公共工事現場における自家用トラックの不正利用の是正等の要望（注1）を行った。

さらに、「生活と経済のライフライン」として、国内物流の大宗を担うトラック運送事業者の「社会的貢献」が正しく理解・評価され、トラック運送業界の社会的地位が向上し、若者から選ばれる業界になるように様々な施策に取り組んだ。コロナ禍の中で「トラックの日」など大規模なイベントを中止せざるを得ないなか、具体的には、無事故チャレンジ運動や環境クリーンキャンペーンの実施、交通事故防止用品の配布等による交通・環境対策の推進、安全性優良事業所（Gマーク）の拡大や特別巡回指導等による輸送秩序の確立、物流出前授業等の実施、人材確保セミナーの開催による労働力確保対策の推進、労務管理や企業経営に関する各種セミナー、講習会の開催、アドバイザー制度等活用による経営基盤の強化、「負けんばい、新型コロナ！！」と題してマスコミ等を活用した広報活動に取り組んだ。

実施事業等の詳細については、次のとおりである。

「注1」

【県ト協の主な要望事項】

1. 大規模災害に迅速に対応できる公益社団法人熊本県トラック協会「防災総合センター」建設について
2. 令和2年7月豪雨災害から復活するための手厚い支援制度の創設について
3. 災害発生時の高速道路等の通行規制の一部緩和について
4. 中小企業が大半を占める県内トラック運送事業の健全な発達への支援について
5. 新型コロナウイルス対策に資する安全・安心輸送支援措置の創設について
6. 公共工事現場における自家用（白ナンバー）トラックの不正利用の是正について

〔総務・交付金運営委員会〕

1. 最重点項目

(1) 標準的な運賃の告示制度の積極的な対応 **公益1-【5】-〈1〉-〈カ〉**

改正貨物自動車運送事業法に基づく標準的な運賃について、業界内外に対する意識啓発を行い、実効性ある活用にむけた普及促進を図るため、次のとおり取り組んだ。

① 熊本日日新聞社への全面広告掲載

令和2年 5月17日（日）熊本日日新聞朝刊に全15段枠でカラー広告を掲載し、荷主企業を含め、一般の方々に対して周知を図った。

② 荷主企業に対するいつもありがとうキャンペーンの実施

令和2年11月から12月の2か月間、会員企業から荷主企業へのチラシ配布を行い、荷主企業に対する標準的な運賃の周知活動を行った。

③ 荷主団体会報への広告掲載

荷主団体である熊本県中小企業団体中央会が発行する「月刊中央会」に、カラー広告を掲載し、荷主企業に対する周知を図った。

④ 協会ホームページからの周知

協会ホームページに標準的な運賃の専用バナー広告を制作し、周知を図った。

⑤ ラジオCMでの周知

ア RKKラジオ「ドライバーズリクエスト」内でのCM放送

イ 熊本シティFMでのCM放送

(2) 各種要望・陳情活動の積極的な推進 **法人会計**

トラック運送事業の社会的な貢献が一般消費者等に適正に評価され、魅力あるトラック運送業界となるよう業界の現状理解と政策要望、新型コロナウイルスに係る要望等について、各種機会をとらえ、「令和3年度の税制改正に関する要望」や「チームくまもとに対する業界の要望」について、議会をはじめ、県選出国會議員や熊本県副知事等に対して、次のとおり陳情要望を行った。

① 各種団体の県への予算要望の提出（会議は中止）

新型コロナウイルスの感染拡大防止、経済対策等に関する要望を行った。

期日：令和2年11月13日（金）

② 熊本県副知事に対する陳情要望

日時：令和2年12月10日（木）14時00分～

場所：熊本県副知事室

対応：（協会）住永会長、江富副会長、富田副会長、専務理事、常務理事、常勤参与
（県）田嶋副知事

③ 熊本県に対する陳情要望

日時：令和2年7月27日（月）11時30分～

場所：熊本県庁本館審議会室

対応：（協会）正副会長、専務理事、常務理事、常勤参与

（県）藤井商工観光労働部長、竹内農林水産部長、上野土木部長、
早田政策審議監、増田商工振興金融課長他

④ 県選出自民党国会議員に対する陳情要望

日時：令和2年11月19日（木）18時30分～

場所：ホテルニューオータニ

対応：（協会）正副会長、青年部会継運会堀内貴央部会長、専務理事、常勤参与
（国会議員）野田毅氏、金子恭之氏、坂本哲志氏、木原稔氏、松村祥史氏、
馬場成志氏

⑤ 自民党熊本県支部連合会に対する陳情要望

日時：令和2年12月3日（木）14時30分～

場所：自民党熊本県支部事務所

対応：（協会）住永会長、専務理事、常務理事

（県連）前川会長

(3) 災害発生に備えた人材の育成等及び各種防災訓練等への参加対応など **公益1-【3】**

① 災害等が発生した場合に備えて、各企業が事業継続計画（BCP）を構築するとともに、災害発生時の緊急物資輸送に対し、対応可能な人材を育成するため、専門講師等を招へいし、講習会を企画したが、新型コロナウイルスの拡大状況を踏まえ、開催を中止した。

② 緊急物資輸送に係る災害時の保険適用が出来るよう、各保険会社に相談を行い、保険適用について検討を行った。

③ 令和2年7月豪雨の支援物資輸送に係る国土交通省、熊本県、トラック協会の意見交換会

日時：令和2年11月17日（火）10時30分～

場所：熊本県庁 本館13階展望会議室

対応：（国土交通省）本省3名、九州運輸局1名、熊本運輸支局2名

（熊本県）健康福祉政策課4名

（協会）専務理事、事務局長

④ 災害発生時の緊急物資輸送等の対応

ア 令和2年7月豪雨が発生したことに伴い、災害時の緊急物資輸送協定に基づき、熊本県健康福祉部健康福祉政策課からの緊急要請を受け、グランメッセ熊本を物資集約拠点として、物流専門家として、常勤役員が施設の管理運営を行うとともに、熊本県庁ヘリエゾン

として職員を派遣し、連絡対応の業務に当たさせた。また併せて被害が発生した県南地域等へ次のとおり緊急物資輸送を行った。

対応期間：令和2年7月4日（土）～令和2年9月15日（火）まで

・対応人員（延べ1073名）

（物流専門家57名、作業指揮者及び荷役作業者451名、フォークリフトオペレーター及び助手292名、在庫管理関係者他273名、他県ト協職員）

・輸送車両：延359台

（10t29台、6t8台、4t11台、2t306台、1t5台）

・荷役機器関係（延台数）

（フォークリフト248台、人員輸送車179台）

使用資材等：次のとおり

（パレット、ネステナー、ハンドリフト、ロールボックス、ストレッチフィルム等）

イ 令和2年7月豪雨により甚大な被害を受けた会員事業者（35社）に対する支援策として、ワンコイン募金を依頼したところ、会員企業（50社）をはじめ他県トラック協会等から義援金をいただき、令和2年12月に当該事業所に寄贈（4,460,000円）を行った。

内訳（会員等からの募金額4,331,000円一般会計からの支出額129,000円）

ウ 令和2年7月豪雨の発生に対して、災害時の緊急物資輸送協定に基づき、熊本市政策局危機管理防災総室からの緊急要請を受け、被害が発生した人吉市への緊急物資輸送を行った。

熊本市依頼分・・・輸送車両：2トントラック1両

⑤ 災害時の緊急支援物資輸送に関する常勤役員による講演

吉住専務理事が災害時の緊急支援物資輸送に関する課題と教訓について、公益社団法人全日本トラック協会において、講演を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

⑥ 自治体・行政機関等が行う防災訓練への参加

ア 水俣市主催

期日：令和2年9月28日（土）

場所：水俣市

対応者：城南支部事務局（1名）2トン車1両出動

イ 八代市主催（中止）

ウ 荒尾市主催（実働訓練）

期日：令和2年10月31日（土）

場所：荒尾市旧第5中学校跡地、岱志高校、海陽中学校、荒尾支援学校

対応者：玉名支部事務局（1名）2トン車2両、4トン車1両出動

エ 九ト協及び鹿ト協との衛星電話通信訓練の実施

期日：令和3年3月4日（木）

場所：熊本県トラック協会研修センター

対応者：協会事務局（5名）

⑦ 各種災害物流研修等への参加

全ト協主催

期日：令和2年12月10日（木）～11日（金）

場所：全ト協

内容：全ト協が主催する「研修」に協会職員2名を参加させ、防災行政や発災時の対応、幅広い防災・災害対策に関する専門知識の習得を目指したが、新型コロナウイルスに係る状況を踏まえ、開催が中止となった。

⑧ 高病原性鳥インフルエンザ等の協定に係る取組み

指定地方公共機関として特定家畜伝染病のまん延防止に協力するため、熊本県が主催する高病原性鳥インフルエンザ防疫演習に参画し、実動訓練に対応した。

日時：令和2年11月6日（金）9時00分～16時00分

場所：熊本市南区城南町

対応者：本部事務局（2名）10トン車1両

2. 重点項目

(1) トラックの日の事業 **公益1-【1】-〈2〉**

コロナ禍においても、くらしと経済を支えるライフラインとしての役割を担っている現実と災害時における緊急物資輸送をはじめとする業界の社会的役割とやりがいのある仕事であることなどの効果的なPRとして、「トラックの日」の開催主旨であるトラック運送業界の社会的地位の向上に向けた有効な取組みとして、豪雨災害の復興や新型コロナウイルスの収束を祈念して、ステッカーの作成配布を行うとともに、「トラックの日」（10月9日）に合わせてPR広告掲載を行った。

① 復興ステッカーの作成配布

ステッカー製作し、令和2年10月中に車両保有台数に基づき、会員事業者に対して車両1台あたり1枚を配布した。

② トラックの日（10月9日）のPR広告実施

10月9日「トラックの日」にあたり、平時・災害時を含め、トラック運送業界が果たす社会的役割等について、新聞紙面等への広告を掲載し、周知に努めた。

ア 熊本リビング新聞（27万部発行）・・・全5段カラー広告

イ 熊本日新聞（26.5万部発行）・・・半5段カラー広告

(2) 広報誌による情報提供 **他1-4**

トラック運送事業に関する各種情報の提供や業界・協会の活動や取組みなどについて、適宜にお知らせするため、月刊広報誌「トラック広報くまもと」を発行し情報提供を行った。また、

広告掲載に関する民間企業団体への希望調査を行うとともにチラシ同封による収益事業を行った。

(3) メディア及びホームページ等の活用 **公益1-【1】-〈1〉**

トラック運送事業に対する一般消費者の一層の理解促進とトラックドライバーの活躍などを理解してもらい、業界参画へとつなげるため、各種メディアなどを活用し、広報活動を行った。一昨年度制作した会員事業所のドライバーが出演するテレビCM2本により、積極的な広報活動を行うとともに、SNS広告などを用いて、若年者に対する効果的なPRを行った。

(テレビCM放送 KKT16本、RKK60本、TKU13本、KAB18本)

その他、企業合同説明会開催にあたり、PRのため積極的な周知を図った。

① テレビ

ア TKU

- ・飲酒運転根絶の交通安全啓発キャンペーンCM

令和2年12月22日(火)～令和3年1月10日(月)まで(25本放送)

② ラジオ

ア RKK

- ・(公社)熊本県トラック協会ラジオCM放送

令和2年4月1日(水)～令和3年3月31日(水)まで(156本放送)

- ・小学生等の登下校時間帯における事故防止啓発広報CM(65本放送)

令和2年6月1日(月)～令和2年8月28日(金)まで

イ FMK

- ・スマイルドライブキャンペーンラジオCM

令和2年9月10日(木)～令和2年10月29日(木)まで(8本)

- ・歩行者横断用横断旗寄贈(50本)

ウ 熊本シティFM

- ・FM791防災コミュニティパートナー(120本)

令和2年5月4日(金)～令和3年2月24日(水)まで

- ・こども新聞(5月号)無料掲載

③ 新聞・雑誌等

ア 熊本日日新聞

- ・令和2年5月17日(日)掲載 新型コロナウイルスに係るエッセンシャルワーカー支援及び標準的な運賃の周知カラー15段(全面)

- ・令和2年11月13日(金)掲載 県政特集号 カラー半5段

- ・令和3年1月31日(日)掲載 合同企業説明会開催 E枠

イ 物流ニッポン

- ・令和2年7月17日(金)掲載 暑中特集号

- ・令和2年10月9日(金)掲載 全国都道府県トラック協会特集号

- ・令和3年 1月 8日 (金) 掲載 2021新年特集
- ウ 輸送経済新聞
 - ・令和2年 7月21日 (火) 掲載 夏季・環境特集
 - ・令和2年10月13日 (火) 掲載 全国トラック運送事業者大会特集
 - ・令和3年 2月23日 (火) 掲載 西日本ブロック特集
- エ くまもと経済
 - ・令和2年10月号掲載 コロナ禍の人流物流 A4カラー1ページ
 - ・令和2年12月号掲載 ピックアップ広告カラー1/2ページ+記事体広告
 - ・令和3年 1月号掲載 業界展望 A4見開き2ページ
 - ・令和3年 3月号掲載 LEADERS2021 A4カラー1ページ
- オ 月刊中央会
 - ・令和2年8月号 暑中名刺広告
 - ・令和3年1月号 新年賀詞名刺広告
- カ 週刊求人案内 熊本版 (1ページ広告)
 - ・令和3年1月18日 (月) ~2月14日 (日)
- キ 週刊求人案内 熊本版 (2号枠 掲載)
 - ・令和3年2月1日 (月) ~2月7日 (日)
- ク WEB求人サイト「あつナビ」熊本版 メインバナー広告
 - ・令和3年1月17日 (日) ~2月13日 (土) (合計4週間掲載)
 WEB求人サイト「あつナビ」熊本版 ベーシックプラン
 - ・令和3年1月31日 (日) ~2月13日 (土)
- ケ リビング熊本記事広告
 - ・令和2年4月6日配布
交通安全手帳配付 (熊本市内小学生向け)
リビング熊本掲載名刺広告
 - ・令和2年6月6日号
リビング熊本掲載交通安全キャンペーン企画 全5段広告
 - ・令和2年10月10日号
- コ すぱいす 半4段記事型広告
 - ・令和3年2月12日号
- サ WEB インディードスポンサー広告 (あつナビ連動)
 - ・令和3年1月31日 (日) ~2月13日 (土)
 WEB リスティング/ディスプレイ広告 (Google/Yahoo!)
 - ・令和3年2月3日 (水) ~2月13日 (土)

④ 街頭ビジョン

- ア 交通安全企画に係る街頭ビジョンでのCM放送
 - ・WAO! VISION (協賛告知359本放送)
 - 令和2年4月13日 (月) ~4月30日 (木) まで

(4) 各種表彰関係 **他1-5**

① 永年継続企業表彰

永年継続企業表彰制度の表彰を次のとおり行った。

被表彰会員企業 9社

② 無事故チャレンジ運動表彰

三者連名表彰28事業所、協会長表彰124事業所 計152事業所

③ 国土交通大臣表彰

被表彰者 川端 満喜男氏 (有川端屋運送 代表取締役)

松本 徹也氏 (志柿運送(株) 代表取締役)

佐藤 晋一郎氏 (桃山運送(有) 運転者)

海野 英昭氏 (熊交エクスプレス(株) 運転者)

④ 九州運輸局長表彰

ア 事業役員表彰

被表彰者	(株)鹿本運輸	代表取締役会長	原口 恭則氏
	安達梱包運輸(株)	取扱役	安達 勝彌氏
	(株)青木運輸	代表取締役	満石 賢一郎氏
	(有)東栄運輸	取扱役	関谷 フサ子氏
	宇城農産輸送(株)	代表取締役	坂木 光代氏
	城南運送(有)	代表取締役	中村 学氏
	(有)坂田運送	代表取締役	田尻 忠男氏
	鹿央運輸(有)	取締役会長	竹下 秀三氏
	鹿央運輸(有)	代表取締役	竹下 由美氏
	みつわ運送(有)	代表取締役	田上 久美子氏
	(有)小嶋運送	代表取締役	小嶋 岳志氏
	(株)矢住陸運	代表取締役	矢住 貴子氏

イ 従業員部門表彰

被表彰者 (有)小嶋陸送センター 中川 義隆氏

ウ 運転者部門表彰

味岡建設(株)	村山 稔光氏
味岡建設(株)	蔵座 藤男氏
味岡建設(株)	宮鹿野 誠氏
(有)小嶋陸送センター	田上 秀孝氏

⑤ 九州運輸局自動車運送事業者無事故表彰

ア 第1回表彰

期日：令和2年9月1日（月）

場所：熊本運輸支局

事業者：東南運輸倉庫(株)、(株)ロッケン、津埜運送(株)、味岡建設(株)（4社）

イ 第2回表彰

期日：令和3年3月4日（水）

場所：熊本運輸支局

事業者：(有)新開貨物、八代港湾倉庫(株)（2社）

(5) 新春賀詞交歓会（中止） **法人会計**

会員企業、荷主企業、来賓らが参集して新春賀詞交歓会を予定したが、新型コロナウイルスに係る感染拡大状況を踏まえ中止となった。

(6) 協会事務局の強化及び業務の見直し **法人会計**

協会の業務の効率化及び会員サービスにつなげるため、各種団体等主催の研修会、セミナーなどに積極的に参加し、職員の資質向上・研鑽を積んだ。

3. 全ト協と連携して行う項目

(1) 高速道路通行料金の大口・多頻度割引最大50%の継続・恒久化、割引制度の充実及び更なる高速道路の積極的な活用に向けた諸対策の実現等 **公益1**

① 高速道路料金に関しては、特に、新型コロナウイルスの影響で多くのトラック運送事業者が経営の危機に直面していることから、新型コロナウイルス禍を克服し、日本経済が正常に回復するまでの間、大口・多頻度割引が従来の割引ではなく、実質50%以上の割引が適用されるよう財務大臣をはじめ政府与党の国会議員に対し積極的な要望活動を展開するとともに、自民党トラック輸送振興議員連盟総会（令和2年12月3日）及び公明党トラック議員懇話会（同年12月3日）、自民党ITS推進・道路調査会（同年11月13日）などにおいても強力に要望活動を行った。その結果、当該要望は見送られたが、令和2年度末（令和3年3月末）で期限を迎える大口・多頻度割引50%枠については、令和2年度第3次補正予算（令和2年12月15日閣議決定）において約78億円が措置され、自動車運送事業者のETC2.0搭載車を対象に令和3年度末（令和4年3月末）まで継続されることとなった。

② 「重要物流道路」における機能強化の推進、高速道路ネットワークの積極的な整備推進及びミッシングリンクの解消

前述の自民党トラック輸送振興議員連盟、公明党トラック議員懇話会、自民党ITS推進・道路調査会などにおいて、道路の積極的な活用に向けた諸対策の実現に向けて、重要物流道路の更なる拡充、高速道路ネットワークの整備推進及びミッシングリンクの解消、道路関係情報のデジタル化の促進などについて要望し、令和2年度第3次補正予算において、災害に強い国土幹線道路ネットワークの機能を確保するため、高規格道路のミッシングリンク解消、高規格道路と代替機能を発揮する直轄国道とのダブルネットワーク等を実施するための予

算が措置された。全ト協では、重要物流道路指定区間の更なる追加等に関する要望書を国土交通省道路局長（令和2年11月10日）に提出した。

③ 高速道路における暫定2車線の4車線化など安全対策及び渋滞対策の推進

前述の自民党トラック輸送振興議員連盟、公明党トラック議員懇話会、自民党ITS推進・道路調査会などにおいて、安全対策の推進として、暫定2車線区間の更なる4車線化の推進を要望し、令和3年度予算案（令和2年12月21日閣議決定）において、高速道路の暫定2車線区間の4車線化等の推進、SA・PA駐車マス不足の解消のための予算が措置された。

また、全国道路利用者会議と連携を図り、令和2年度に実施した高速道路の渋滞箇所や国道・県道等の渋滞箇所、駐車スペース不足箇所に係るアンケート調査を踏まえて国土交通省等に改善要望を行った。その結果、国土交通省では令和元年度に引き続き、全国各所で渋滞対策及び駐車スペースの拡張が行われた。熊本県では、渋滞対策として、熊本市国道3号線植木町豊田の路面標示（停止線位置の前出し）が行われ、駐車スペースの拡張として山鹿市の国道3号線鹿北の大型車駐車マスの増設が行われることとなった。

(2) 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現 **公益1**

① 自動車関係諸税の簡素化・軽減の実現

要望活動については、政府与党の国会議員に対し積極的に陳情活動を展開するとともに、自民党トラック輸送振興議員連盟総会（令和2年12月3日）及び公明党トラック議員懇話会（同年12月3日）、自民党自動車議連自動車政策懇談会（同年11月19日）、立憲民主党ヒアリング（同年11月18日）などにおいても強力に要望した。

税制改正の結果については、政府において令和3年度税制改正大綱を令和元年12月21日に閣議決定し、税制改正関連法案は令和3年3月26日に国会で成立した。トラック運送業界に関係する主な内容は以下のとおりであった。

- ・車両総重量3.5トン以上の普通貨物自動車も対象となる「中小企業投資促進税制」については、適用期限が2年間延長された。
- ・自動車税における営自格差は堅持された。
- ・自動車重量税のエコカー減税については、適用期限が2年間延長された。
- ・自動車税環境性能割の特例措置については、適用要件及び措置内容を見直した上で、適用期限が2年間延長された。
- ・ASV特例措置については、適用要件及び措置内容を見直した上で適用期限が延長された。また、対象装置として側方衝突警報装置が追加された。
- ・自動車税のグリーン化特例、中小企業・協同組合等の法人税率の特例措置については、適用期限が2年間延長された。
- ・所得拡大促進税制、中小企業経営強化税制については、適用要件を見直した上で適用期限が2年間延長された。

(3) 大規模災害発生時における緊急輸送体制の確立 **公益1-【3】**

災害物流専門家育成プログラム策定ワーキンググループを3回開催し、研修プログラムの策定及びテキストの作成を行った。また、会員事業者等を対象とした災害物流専門家研修を北海

道及び東北ブロックにて開催し、39名が受講した。(他ブロックは中止)

令和2年7月豪雨においては、政府のプッシュ型支援による緊急支援物資輸送にかかる車両の手配を実施した。さらに緊急輸送車両の燃料供給を確保するためトラック運送事業者に対し自家用スタンド設置助成を行い、緊急給油のネットワーク整備を図った。

その他、全日本トラック協会と各都道府県トラック協会間の緊急通信体制の確認とともに、情報伝達訓練を行った。

(4) 全ト協会長表彰 **他1-5**

① 正しい運転明るい輸送運動表彰

(株)熊本総合運輸(熊本南支部)、東南運輸倉庫(株)(熊本東支部)、(有)江里運送(人吉・球磨支部)

② 全ト協表彰規程による表彰

事業役員	14名
従業員	15名
合計	29名

③ 優秀運転者顕章

金十字章	27名
銀十字章	52名
合計	79名

(5) 全日本トラック協会が主催する第25回全国トラック運送事業者大会については、新型コロナウイルスに係る感染拡大状況を踏まえ、中止なった。 **公益1**

令和2年度事業報告

〔支部の組織内化等検討特別委員会〕 法人会計

協会運営の活性化を図り、内部組織のあり方等について、検討を深めるため設置された支部の組織内化等検討特別委員会において、次のとおり協議を行った。

(1) 会議

- ① 日時：第12回 令和2年7月27日（月）13時30分～
場所：(公社)熊本県トラック協会

- ② 日時：第13回 令和2年9月28日（月）13時30分～
場所：(公社)熊本県トラック協会

令和2年度事業報告

〔熊本県トラック協会総合センター建設特別委員会〕 公益1-【3】

協会総合センター建設特別委員会を次のとおり開催し、現在の構想の内容及び建設候補地の視察・検討を行った。

(1) 協会総合センター建設特別委員会

- ① 第1回総合センター建設検討委員会
日時：令和2年12月21日（月）13時30分～
場所：(公社)熊本県トラック協会

- ② 総合センター建設検討委員会及び正副会長による現地視察
日時：令和3年1月12日（火）午後1時30分
場所：候補地の確認

〔交通・環境対策委員会〕

1. 最重点項目

(1) 交通事故防止対策の推進

① 無事故チャレンジ運動の実施 **公益2-【5】**

令和2年10月1日(木)～令和3年1月8日(金)までの100日間、社会との共生を図りながら、公共の道路を活用し、公共輸送の使命を担うトラック運送業界においては、交通事故防止対策は最重要課題の1つであることから、年末年始の輸送繁忙期の交通量が増加する時期に、関係行政機関と連携し、交通事故ゼロを目指し、交通事故防止対策を推進した。

また、参加181事業所から、表彰基準を満たした28事業所を三者連名表彰(熊本運輸支局長、熊本県警察本部交通部長、トラック協会長)、124事業所を協会長表彰として表彰した。(計152事業所)

② 交通事故・労働災害防止大会の実施 **公益2-【5】**

年末の輸送繁忙期にかけて、事業用トラックによる交通死亡事故や労働災害防止対策の推進を目的に、交通事故防止及び労働災害防止研修会を実施した。

日 時：令和2年10月7日(水) 13時30分～16時00分

場 所：ホテル熊本テルサ テルサホール

参 加 者：70事業所70名

講 演 I：「飲酒運転防止対策について」

講 師：熊本県警察本部交通部交通企画課

交通事故防止総合対策室 対策第二係長 高田 晃嗣氏

講 演 II：「労働災害防止対策について」

講 師：熊本労働局労働基準部健康安全課 地方産業安全専門官 福留 隆史氏

③ 交通安全街頭キャンペーンの実施 **公益2-【5】**

各交通安全運動の実施に併せて、熊本県内の交通事故が多発している交差点等において、下記の日時にてトラックドライバー及び一般ドライバーに交通事故防止を啓発し、交通事故の撲滅を目指した。

ア 春の全国交通安全運動

※新型コロナウイルス感染症拡大により中止

イ 秋の全国交通安全運動

日時：令和2年 9月24日(木) 14時30分～16時30分

場所：流通団地入口交差点(熊本市南区)

ウ 年末年始の交通事故防止運動

日時：令和2年12月15日(火) 14時00分～15時00分

場所：野口交差点(熊本市南区)

④ 第40回熊本県トラックドライバー・コンテストの実施 **公益2-【5】**

運転技能と関係法令及び車両構造等に係る専門的な知識を競い、他の模範となることで、社会的責務を担うトラックドライバーとしての自覚と誇りを醸成し、交通事故防止の推進

と環境負荷の低減に寄与することを目的に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大により中止となった。

⑤ 事故防止用品の作成 **公益2-【1】-〈4〉**

新入学児童に対する交通事故防止用品を各地域振興局単位の教育事務所を通じて、当該地域の支部長より、教育事務所長宛てに新入学児童の交通事故防止を目的として、令和3年2月から3月にかけて、ノート（連絡帳）及び鉛筆（18,500枚）を寄贈した。

また、事業者やトラックドライバーに対する交通事故防止の啓発を図るため、交通渋滞予想地域及び熊本県交通安全川柳標語入りカレンダーを1,550部作成し、全会員事業者に配布した。

⑥ 事業用貨物自動車の業務中における交通事故発生状況（2020年中）

《熊本県警察本部資料》

	発生件数	死者数	負傷者数	飲酒運転
大型貨物	36 (△7)	0 (△3)	45 (△3)	0 (±0)
中型貨物	23 (△5)	1 (±0)	33 (△1)	0 (±0)
準中型貨物	18 (+1)	0 (△1)	24 (+3)	0 (±0)
普通貨物	5 (+3)	0 (±0)	5 (+3)	0 (±0)
合計	82 (△8)	1 (△4)	107 (+2)	0 (±0)

() 内は、前年対比

【目標】

○発生件数 80件以下

○死者数 0人

○負傷者数 100人以下

○飲酒運転 0件

※飲酒運転は目標を達成した。しかし、発生件数、死者数、負傷者数は、目標達成できなかった。

⑦ 事故防止セミナーの開催 **公益2-【5】**

事業用トラックの人身事故全体の約半数を占める追突事故に関する最新の事故データに基づくマニュアルを中心に、追突事故の重大性について理解いただくため、「トラック追突事故防止マニュアル～追突事故撲滅キット～」を活用したセミナーを開催した。

日時：令和2年11月11日（水）13時00分～16時30分

場所：(公社) 熊本県トラック協会 研修センター

参加者：49事業所49名

講師：東京海上日動リスクコンサルティング(株) 瀧口 英一 氏

(2) 安全教育の普及促進

① ドライバー等安全教育訓練助成事業の周知 **公益2-【2】-〈6〉**

全ト協が助成するトラックドライバー及び安全運転管理者等を対象とした安全運転研修所における安全教育訓練について、広報紙及びホームページ等で普及促進を図った。
(6社10名参加)

② 安全運転等研修会の実施 **公益2-【2】-〈6〉**

安全及び事故防止に関する知識及び省燃費運転による運転技能向上等を目的にドライバー等を対象とした研修会を八代ドライビングスクール、大矢野自動車学校にて開催した。

また、「貨物自動車運送事業者が運転者に対して行う指導及び監督の指針」に基づく、初任運転者研修会を福岡県おんが自動車学校、八代ドライビングスクールにおいて次のとおり開催した。

ア 福岡県おんが自動車学校

開催期間及び参加人員 (1泊2日 一般・初任運転者、指導監督者研修)

令和2年 6月13日(土)～14日(日) (1社1名)

令和2年 6月20日(土)～21日(日) (1社2名)

令和2年 7月11日(土)～12日(日) (2社3名)

令和2年10月10日(土)～11日(日) (1社1名)

イ 八代ドライビングスクール

開催期間及び参加人員 (2日 一般・初任運転者、指導監督者研修)

令和2年 6月13日(土)～14日(日) (5社9名)

令和2年 7月18日(土)～19日(日) (6社7名)

令和2年10月 3日(土)～ 4日(日) (5社6名)

開催期間及び参加人員 (1日 省燃費等・安全運転研修)

令和2年 6月 7日(日) (4社6名)

令和2年 7月26日(日) (6社9名)

令和2年 8月23日(日) (6社9名)

令和2年 9月27日(日) (4社7名)

ウ 大矢野自動車学校

開催期間及び参加人員 (1日 省燃費等・安全運転研修)

令和2年 6月14日(日) (6社10名)

令和2年 6月21日(日) (8社14名)

令和2年 6月28日(日) (5社 8名)

令和2年 7月12日(日) (3社 6名)

合計 63社98名参加

③ 交通事故統計の情報提供 **公益2-【1】-〈1〉**

交通事故防止の意識向上及び安全運転の啓発並びに運転者に対する指導・監督の際の資料に活用できるよう事業用トラックの交通事故統計（熊本県警察資料）を「トラック広報くまもと」に掲載した。

④ 各季における交通安全運動の実施 **公益2-【5】**

トラック輸送の安全確保と安全・安心で信頼できる輸送体制の確立を図るため、各季交通安全キャンペーンを推進し、各交通安全運動への積極的な参加を周知徹底するため、交通安全懸垂幕の掲示、トラック広報くまもとへの記事掲載を行った。

ア 春の全国交通安全運動

令和2年 4月6日（月）～4月15日（水）

イ 秋の全国交通安全運動

令和2年 9月21日（月）～9月30日（水）

ウ 正しい運転・明るい輸送運動

令和2年11月16日（月）～令和3年1月10日（日）

エ 年末年始の輸送等安全総点検

令和2年12月10日（木）～令和3年1月10日（日）

オ 年末年始の交通事故防止運動

令和2年12月21日（月）～令和3年1月 3日（日）

2. 重点項目

(1) 貨物集配中の駐車規制見直しへの対応 **公益1-【5】**

貨物集配中の貨物車に係る駐車規制見直しについて、輸送効率の向上及び労働環境の改善による過労運転防止を目的に、熊本県警察本部交通部長に対する貨物集配中の車両に係る駐車規制見直しに関する要望活動の結果、令和2年4月から、熊本市中央区水道町（白川公園隣）に駐車規制見直しに伴い、貨物集配中の貨物車の駐車可能となった。

(2) 環境クリーンキャンペーンの実施 **公益4-【1】-ア**

「トラックの日」の関連事業として、10月を「環境月間」と定め、令和2年10月17日（土）を「実施統一の日」として、各支部の会員事業所のドライバーやその家族、地元地域の小中学生、協会役員等により、令和2年10月10日（土）～10月24日（土）にかけて、日頃利用している道路に感謝を込めて、幹線道路やその周辺地域において清掃活動が行われた。（12支部781名参加）。

(3) 「トラックの森」づくり緑化推進事業 **公益4-【1】-ウ**

トラック運送業界の社会貢献事業の一環として、地域への植樹を通じた地球温暖化防止対

策として、熊本学園大学（熊本市中央区大江）に対する「トラックの森づくり」緑化推進事業として、令和3年2月に植樹寄贈を行った。

また、平成26年1月に旧弓ヶ浜跡地（上天草市大矢野町）にサクラ、モミジ、ツツジ等の植樹後に繁茂した草の下草刈りを「トラックの日」の関連事業の育林事業として、令和2年9月29日（火）に実施した。

（4）各種助成事業

交付金等助成事業の活用を促進するため、熊本県トラック協会の助成事業の目的、申請方法等をトラック広報くまもとで周知した。

① ドライブレコーダー機器導入促進助成 **公益2-【2】-（4）**

64社 105台 1,470千円

② ASV装置導入促進助成 **公益2-【2】-（3）**

95社 120台 3,690千円

③ 安全装置等導入促進助成 **公益2-【2】-（2）**

106社 155台 4,351千円

④ アルコール検知器助成 **公益2-【2】-（1）**

25社 47台 681千円

⑤ 低公害車導入促進助成（CNG車、ハイブリッド車） **公益4-【2】-〈1〉**

4社 10台 1,057千円

⑥ グリーン経営認証取得助成 **公益4-【2】-〈2〉**

14事業所 592千円

⑦ ポスト新長期車両に対する融資推薦 **公益4-【3】**

環境対策を推薦するためポスト新長期規制適合車導入促進に係る融資の推薦を行うとともに、その利子の補給を行った。（推薦件数6件）

（5）アドバイザー制度の導入 **他1**

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託して、会員からの要望に対応するため、相談窓口を設置し、アドバイザーの増員を図った。

○法律アドバイザー・・・北里敏明氏（弁護士）、江越和信氏（弁護士）
河津 和明氏（顧問弁護士）

○経営・労務アドバイザー・・・株近代経営研究所
株瀧澤・佐藤事務所 瀧澤 学氏
株プロデキューブ 高柳 勝二氏

3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 事業用トラックによる交通事故実態の把握と要因分析 **公益2-【1】**

事業用トラックを第一当事者とする死亡事故件数を車両台数1万台当たり「1.5」以下とし、都道府県（車籍別）の共通目標による事故防止対策の推進を図った。

また、車籍別、発生地域別、車両区分別、道路区分別等詳細に交通事故実態を分析・把握し、有効な事故防止対策を全ト協と連携し実施した。

(2) 飲酒運転根絶に向けた取り組み強化 **公益2-【1】**

全ト協作成の「飲酒運転防止対策マニュアル」を活用し、運転者等に対するアルコール検知器の携行、酒気帯びの有無の測定方法及び測定結果の確実な報告等の指導を徹底するとともに、事業用トラックが関係した飲酒運転事故事例の周知に伴う飲酒運転根絶意識の向上を全ト協と連携し取り組んだ。

(3) 駐車問題見直しへの対応 **公益1-【5】**

貨物集配中の事業用トラックに係る駐車規制の見直しに伴う諸課題について、情報収集に努め、必要に応じ、改善に向けた関係機関への働きかけを全ト協と連携し取り組んだ。

〔経営改善委員会〕

1. 最重点項目

(1) 物流効率化促進による経営基盤強化対策の推進 **公益1-【5】-〈1〉-ウ**

荷主企業や物流関係企業の経営者等と会員事業者が、トラック運送業界を取り巻く環境や当面する諸課題等を共有し、業界における長時間労働・低賃金の改善に向けた理解を深めるとともに、各企業と県内産業全体の一層の発展を図ることを目的として、開催予定であった荷主企業と物流事業者のための経営セミナーについては、熊本県の緊急事態宣言発令を受け、中止となった。

なお、講演予定であった2名の講師の講演資料については、後日、協会ホームページに掲載し、広く一般に周知を行った。

~~日時：令和3年1月26日（火）15時00分～~~

~~場所：ホテル日航熊本・5F阿蘇CD~~

~~講演Ⅰ：「コロナ禍における企業の感染防止対策~~

~~～私たちの経験から学んだこと 濃厚接触者の重要性について～~~

~~講師 熊本託麻台リハビリテーション病院 理事長 平田 好文 氏~~

~~講演Ⅱ：「標準的な運賃の告示及び運送業界を取り巻く状況について」~~

~~講師 国土交通省自動車局貨物課 課長 伊地知 英己 氏~~

(2) 運送原価管理に基づく適正運賃・料金收受の推進 **公益1-【5】-〈1〉-カ**

① 適正運賃・料金收受に向けた運送経営改善セミナーの開催

より実効性のある適正運賃・料金收受に向けた業界内の意識啓発を目的としてセミナーを開催した。

開催日時：令和2年10月23日（金）13時30分～15時30分

開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター

参加者：25社26名

テーマ：「トラック20台以下の運送会社のための荷主との

運賃交渉3社の実例公開セミナー」

講師：(株)運送経営改善社 代表取締役 高橋 久美子 氏

② 「標準的な運賃」の活用に向けた積極的な周知

改正貨物自動車運送事業法に基づく「標準的な運賃」について、業界内外に対する意識啓発を目的に、県内約3,000社の荷主企業及び荷主団体に対する協力要請文書の発出を行うとともに、協会ホームページへ運賃表等の掲載を行うなどして、実効性ある活用に向けた普及促進に努めた。

また、「標準的な運賃」の普及啓発を目的に協会役員向けに国土交通省貨物課長からの講話を行った。

日時：令和3年1月26日（火）15時00分～

場所：ホテル日航熊本・5F天草A

講演：「標準的な運賃の告示及び運送業界を取り巻く状況について」

講師 国土交通省自動車局貨物課 課長 伊地知 英己 氏

③ 原価意識強化セミナーの開催

トラック運送事業が安定的に輸送力を確保し、持続的かつ収益力のある産業として発展させていくため、輸送特性・業態別の原価水準の把握と「標準的な運賃」の考え方やその適用方法を踏まえたに運賃・料金収受に向けた取り組みとして、運送事業における経営全体の改善や取引先との運賃交渉力強化に向けた内容を取り入れ、収益力の向上に焦点をあてたセミナーを開催した。

開催日時：令和2年11月24日（火）13時30分～17時00分

開催場所：(公社) 熊本県トラック協会研修センター

参加者：24社24名

内容：原価計算の実践（運行ルート単位、取引先単位の原価計算、単価表の設定）、標準的な運賃の考え方をういた原価計算の活用（改正標準運送約款を踏まえた契約の見直し事例、取引条件見直し交渉の成功事例、運賃交渉のポイントなど）

講師：近代経営システム研究所 代表 森高 弘純 氏

④ 熊本県版経営分析の活用

熊本県下のトラック運送事業者の経営実態を調査・分析し、各社の指標となる「熊本県版・経営分析報告書」の作成を行うとともに、分析結果の活用に繋げるため、ホームページ掲載により会員事業者向けの周知に努めた。<https://kuma-ta.com/managementanalysis>

2. 重点項目

(1) 事業後継者等の人材育成 **公益1-【5】-〈1〉-イ**

次代を担う優秀な人材を育成するため、専門の講師を招聘し、セミナーを開催した。（延べ49名参加）

① 「これからの時代を生き抜く人材育成セミナー」

開催日時：令和2年8月27日（木）、9月17日（木）、10月15日（木）、
11月5日（木） 全4日間実施

開催場所：(公社)熊本県トラック協会研修センター

カリキュラム：①コミュニケーション、②ビジネスコーチング、③財務経理、④経営分析

講師：①株式会社セレン 代表取締役 井上 幸 氏

②株式会社コーチングディベロップメント 代表取締役 境 英利 氏

③④株式会社M-CASS 代表取締役 平井 孝道 氏

また、青年部会における研修会等に対する支援を行った。**公益1-【5】-〈1〉-ク**

② 青年部会セミナー

開催日程：令和2年8月19日（水）

方 法：オンデマンド（YouTube）

講 師：（一社）クオリティオブライフ創造支援研究所 理事長 森田 司 氏

テーマ：「アフターコロナと働き方改革への対応」

開催日時：令和2年8月26日（水） 13時15分～14時30分

方 法：オンライン（ZOOM）

講 師：（一社）クオリティオブライフ創造支援研究所 理事長 森田 司 氏

テーマ：「2021年4月1日施行 働き方改革関連法 同一労働同一賃金制度を学ぶ」

開催日時：令和3年2月3日（水） 13時30分～14時30分

方 法：オンライン（ZOOM）

講 師：船井総研ロジ株式会社 河内谷 庸高 氏

テーマ：「with/after コロナ時代を勝ち抜く 運送会社の経営戦略セミナー」

(2) 中小トラック運送事業者のためのIT活用セミナーの開催 **公益1-【5】-〈1〉-キ**

トラック運送業界の人材不足対策の一環として、情報化支援による業務の効率化及び輸送品質の向上を推進するため、IT活用のメリットや生産性向上に向けたIT機器及びシステム活用事例の紹介、全ト協車両原価計算シートの活用等に関するセミナーを行った。（受講者14社・14名）

開催日時：令和2年12月9日（水） 13時30分～16時00分

開催場所：（公社）熊本県トラック協会研修センター

講 師：近代経営システム研究所 代表 森高 弘純 氏

(3) 金融対策等の支援 **他1-2**

会員事業者の近代化合理化及び環境対策を推進するため、近代化基金による融資の推薦を行うとともにその利子の補給を行った。（推薦件数14件）

(4) 自営転換の推進 **公益1-【5】-〈1〉-ア**

熊ト協ホームページに掲載し、営業用トラックによる輸送効率化を促すため、会員事業者の企業情報などの提供を行い、自家用トラックでの輸送を行っている荷主企業等に対して自営転換の推進を図った。（登録事業者数333社）

(5) アドバイザー制度の導入 **他1**

会員の経営に資するため法律・経営・労務に関する専門のアドバイザーに業務を委託して、会員事業者からの相談・要望に対応するため、相談窓口を設置し、アドバイザーの増員を図った。

○法律アドバイザー・・・・・・・・北里敏明氏（弁護士）

江越和信氏（弁護士）

河津和明氏（顧問弁護士）

○経営・労務アドバイザー・・・・（株）近代経営研究所

（株）瀧澤・佐藤事務所 瀧澤 学氏

（株）プロデキューブ 高柳 勝二氏

（6）事業報告書及び事業実績報告書作成要領の説明 **公益1-【5】-〈1〉-ア**

貨物運送事業者に提出が義務付けられている事業報告書及び事業実績報告書の作成要領等について、新型コロナウイルスの感染拡大防止を目的に希望事業者との個別相談の対応を行い、提出率の向上を図った。

3. 全ト協と連携して行った項目

（1）燃料価格変動対策 **公益1**

燃料サーチャージ導入や価格転嫁を積極的に促進するため、全ト協や行政機関等と連携を図り、燃料サーチャージガイドライン及び下請・荷主適正取引推進ガイドラインの周知を行った。

（2）経営分析及び個別企業診断等の活用 **公益1-【5】-〈1〉-カ**

中小トラック運送事業者の経営実態の把握と個々の経営改善への取り組みに資するため、全ト協と連携し経営分析報告書の策定及び個別企業診断の積極的な活用を周知し、利用促進を図った。（診断件数14件）

（3）自家用燃料供給施設整備支援助成事業 **公益1-【3】**

全ト協と連携し、運送事業者や協同組合が燃料の安定的な確保を目的に導入する自家用燃料供給施設に対する助成を行うとともに、助成を受けた供給施設の大規模災害時の際の緊急輸送時における燃料供給体制の整備を推進した。（助成件数2社）

（4）中小企業大学校の講座受講促進 **他1-1**

中小企業基盤整備機構が運営する中小企業大学校の講座受講促進制度について、トラック広報くまもとやホームページ等を活用して周知を行った。（助成件数4社6名）

（5）中小企業信用保険法業種指定のための輸送量等にかかる実態調査 **他1**

信用保険法に基づく業種指定を受けるために、トラック事業者の輸送量等を全ト協と連携し調査を行った。（21社、年4回実施）

（6）トラック運送業の生産性向上促進事業 **公益1**

トラック運送業の労働生産性の向上を図り、持続的な経営の確保を目的に令和元年度・国

土交通省補正予算により実施された「荷役作業等の効率化に資する機器（テールゲートリフター、トラック搭載型クレーン、トラック搭載用２段積デッキ）の導入に対する補助事業」の執行団体である全日本トラック協会と連携し、補助金利用に向けた周知を行った。

① テールゲートリフター等導入に対する補助

受付期間：令和３年２月１９日（金）～３月１１日（木）

〔適正化事業委員会〕

1. 最重点項目

(1) 適正化事業等の推進による法令遵守の徹底

① 巡回指導の効果的な推進 **公益3-【2】**

新規事業者や特別巡回指導及び総合評価が低く指導の必要性が高い事業者など、巡回指導指針及び指導マニュアルに基づき、新型コロナウイルス感染症防止対策を十分に講じて巡回指導を行った。また、巡回指導を通じて、働き方改革関連法や改正貨物自動車事業法の改正に伴う周知を行った。

【巡回指導実績表】

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
実績数	0	0	14	21	19	30	36	31	30	12	11	29	233	
内 訳	既存	0	0	9	9	16	28	32	26	25	11	10	21	187
	新規	0	0	2	12	3	2	1	5	5	1	1	6	38
	特別	0	0	3	0	0	0	3	0	0	0	0	2	8

※ 4月と5月及び1月中旬～2月中旬は、緊急事態宣言が発令されたため、新型コロナウイルス感染症予防のため通常巡回指導・個別指導等を延期または中止した。

② 標準的な運賃の告示制度の積極的な周知 **公益1-【5】-〈1〉- (カ)**

令和2年4月に告示された「標準的な運賃」についての考え方やその適用方法など、会員事業者に理解と普及を図るとともに、荷主企業との交渉に活用いただけるよう、運賃・料金の届出方法などについて、熊本運輸支局の協力の下、各支部と連携して普及セミナーを開催した。

ア 全事業所	開催日時：令和2年 9月15日 (月)	13時30分～
	開催場所：ホテル熊本テルサ	参加者 66名
イ 天草支部	開催日時：令和3年 1月19日 (火)	15時00分～
	開催場所：天草市商工会会議室	延期
ウ 城南支部	開催日時：令和3年 2月15日 (月)	13時30分～
	開催場所：セレクトロイヤル八代	<u>参加者数 58名</u>
エ 阿蘇支部	開催日時：令和3年 2月16日 (火)	13時00分～
	開催場所：藤屋観光	<u>参加者数 13名</u>
オ 玉名支部	開催日時：令和3年 2月18日 (木)	13時30分～
	開催場所：玉名市民会館	<u>参加者数 11名</u>
カ 熊本中支部	開催日時：令和3年 2月19日 (金)	18時00分～
	開催場所：輸送団地組合会議室	<u>参加者数 14名</u>
キ 人吉・球磨支部	開催日時：令和3年 3月10日 (水)	14時00分～
	開催場所：人吉・球磨自動車協会	<u>参加者数 13名</u>

ク 熊本東支部 開催日時：令和3年 3月23日（火） 13時30分～
開催場所：熊本南工業団地協同組合会議室 参加者数 24名

(2) 安全性評価事業（Gマーク制度）の積極的な推進及び普及促進策の実施 **公益3－【1】**

① 安全性優良事業所数及び認定率

2020年度の安全性評価事業は、136事業所から申請があり、新規22事業所、初回更新26事業所、2回目更新24事業所、3回目更新15事業所、4回目更新14事業所、5回目更新33事業所の合計134事業所が認定を受けた。（熊本県の認定率32.1%）

② 安全性優良事業所の拡大及び認定取得率向上対策

巡回指導時などで総合評価が高い事業所に評価事業の申請をするよう説明するほか、更新事業所や新規取得事業所の拡大及び認定取得率の向上を図った。

令和2年 4月28日（火） 説明動画（全ト協配信）

令和2年 6月 1日（月）～30日（火） 申請書類の事前確認

③ 安全性優良事業所のインセンティブ（県ト協独自）

ア 夜間従事者に対する2回目の健康診断料の一部助成 85件 1,763名 1,763千円

イ Gマーク認定事業所へのぼり旗の配布 新規 22事業者 66枚配布

④ Gマークラッピングトラックによる県民へのPR

Gマークを全面にデザインしたラッピングを行い、トラックの機動性や走る広告塔としての新たな展開を図り「Gマークの認知度アップ」について、広く県民の皆様へ広報するため、新たにGマークラッピングトラック2台を運行した。

協力会社：(有)鹿央運輸、引越社(株)熊本支店

⑤ 安全性優良事業所表彰

安全性優良事業所の認定を連続して10年以上受けており、表彰要件に該当する事業所に対して、九州運輸局長表彰及び熊本運輸支局長表彰が授与された。（平成26年度創設）

【表彰事業所数】

	平成26年度～ 平成28年度迄	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	合計
九州運輸局長表彰	1	3	2	0	1	7
熊本運輸支局長表彰	19	1	6	2	3	31

熊本運輸支局長表彰式：令和2年10月27日（火）

2. 重点項目

(1) 運行管理者試験対策 **公益1－【5】**

会員事業者の運行管理者試験受験者の合格率向上を図るため、専門の講師を招聘し試験対策として運行管理者対策勉強会を開催した。

また、過去の試験問題などを出題した模擬試験会を開催し、更なる合格率アップを図った。

【運行管理者試験対策勉強会】

- ① 開催日時：令和2年 8月 1日(土) (受講者64名)
- ② 開催日時：令和2年 8月 8日(土) (受講者47名)
- ③ 開催日時：令和2年 8月16日(日) (受講者55名)
- ④ 開催日時：令和3年 2月 9日(火) (受講者31名)
- ⑤ 開催日時：令和3年 2月19日(金) (受講者53名)
- ⑥ 開催日時：令和3年 2月28日(日) (受講者57名)

上記はすべて、講師に八代ドライビングスクール専任講師を招聘し、会場をグランメッセ熊本で行った。

【運行管理者試験模擬試験会】

- ① 開催日時：令和2年 8月21日(金) (受講者32名)
開催場所：グランメッセ熊本
- ② 開催日時：令和3年 3月 3日(水) (受講者48名)
開催場所：グランメッセ熊本

【運行管理者試験結果】

区分	試験実施日	申請者数	受験者数	合格者数	合格率
第1回	8月23日	579	504	141	28.0% (全国順位38位)
第2回	3月 7日	484	450	171	42.4% (全国順位29位)
合計		1,063	954	332	

(2) 運行管理者及び整備管理者研修費助成 **公益2-【2】-(7)(8)**

輸送の安全確保と車両管理体制の充実を図り、会員事業者の安定した事業運営及び運行管理等に資するため、各事業所で選任された運行管理者及び整備管理者に対し、2年に1回の受講義務のある研修費用の助成を行った。

- ① 運行管理者一般講習 受講者数 825名 (計18回)
- ② 整備管理者選任後研修 受講者数 534名 (計 5回)

(3) 熊本県貨物自動車運送適正化事業実施機関評議委員会の開催 **公益3**

適正化事業実施機関の組織・運営の中立性及び透明性の確立を図るため、貨物自動車運送事業法第39条に基づき、学識経験者や荷主、マスコミ、消費者団体などで構成された評議委員会を開催し適正化事業に関する意見を受けた。適正化実施機関においては、その意見等に基づき、公正かつ着実な運営の推進を図った。

- ・ 令和2年度第1回 令和2年11月24日(火) ※書面協議
- ・ 令和2年度第2回 令和3年 2月12日(金) ※書面協議

(4) 過積載絶滅運動月間の推進 **公益2-【1】-(3)**

「過積載絶滅運動月間(10月1日～31日)」に、関係行政機関(熊本県過積載防止対策連絡会議)と連携を図り、過積載運行の街頭取締り及び啓発活動に参加し、運転者にチラシやグッズ等を配布した。また、ポスターを作成し、事業者や荷主企業及び関係業界等に

約1,300枚配布し、過積載防止に対する理解と協力を求めるため周知を図った。

【街頭取締り及び啓発キャンペーン】

- ① 令和2年10月 1日（木）熊本河川国道事務所 八代維持出張所
- ② 令和2年10月 6日（火）八代インター
- ③ 令和2年10月 8日（木）四方寄計量所

【過積載運行に対する行政処分件数（車両の使用停止）】

管内 \ 年度	平成30年	令和元年	令和2年
九州運輸局管内	4	6	2
熊本運輸支局管内	0	2	0

(5) 苦情処理への適正・迅速な対応 **公益3-【3】**

一般消費者等からの運転マナーやドライバー等からの長時間労働などの苦情、相談に対して、適正・迅速に対応し解決に努めた。特に、運転マナーについては、事業所などの運行管理者へ乗務員教育の徹底を指導した。

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
運転マナー	4	3	8	2	2	4	4	3	1	3	3	7	44
労働関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	0	4	1	2	0	1	4	0	5	0	0	2	19
合計	4	7	9	4	2	5	8	3	6	3	3	9	63

(6) 可搬式適性診断機器の利用促進 **公益2-【1】-<2>**

熊ト協及び各支部にて貸出を行っている可搬式適性診断機器の活用を周知することにより、会員事業者の運転者に対する指導・監督の支援を行い、事故防止対策の促進とGマーク認定取得の拡大を図った。

【貸出状況】

()は対前年比

	4月～9月	10月～3月	4月～3月（年度計）
令和2年度	80事業者（△18） 2,070名（△1）	60事業者（ 9） 1,226名（△181）	140事業者（△9） 3,296名（△182）

(7) 安全運行対策の励行に対する啓発 **公益2-【1】-(1)**

暴風雪などの気象災害などドライバーの安全運行対策励行のために、「適正化事業課だより（緊急通知）」などの文書を発出し、会員事業者に対する事故防止の周知を図った。

「適正化事業課だより」20件、「災害だより」10件（計30件）

3. 全ト協と連携して行う項目

(1) 運輸安全マネジメントの普及拡大 **公益2-【1】**

安全性評価事業の説明会や巡回指導等を通じて、運輸安全マネジメントに関するパンフレッ

トを配付し普及促進に努めた。また、2021年事故防止カレンダーの表紙を利用して運輸安全マネジメントの作成ができるよう会員事業者へ配布し、普及拡大を行った。

(2) 適正化事業指導員に係る資質の向上 **公益3**

全ト協主催の指導員初任研修に参加させ、適正化事業指導員の専任化の推進とスキルアップを図った。なお、新型コロナウイルス感染症防止のため、その他の研修は中止となった。

【適正化事業指導員全国研修(初任研修)】

令和2年10月15日(木)～16日(金)：リモート形式 参加1名

(3) 引越事業における消費者サービス向上の推進 **公益3－【3】**

一般消費者保護や当業界のイメージアップを図るため、引越運送業務における実務担当を担う引越管理者向けの講習会を開催し、その資質の向上に努めるとともに、引越優良事業者の拡大や引越事業者優良認定制度の周知を図った。

① 引越基本講習

日 時：令和2年 9月 2日(水) 10時00分～16時00分

場 所：(公社)熊本県トラック協会

参加者：8名

② 引越管理者講習

日 時：令和2年 9月 3日(木) 10時00分～16時00分

場 所：(公社)熊本県トラック協会

参加者：19名

③ 引越優良事業者の拡大

引越事業者を客観的に評価する引越事業者優良認定制度（平成26年度創設）に基づく引越優良事業者の拡大を図るとともに、消費者に安全・安心な引越サービスを提供する事業者の情報の提供を行った。（熊本県内の認定数合計：15事業者、24事業所）

④ 消費者サービス向上の推進等（安心の引越に向けての広報啓発活動）

平成28年の熊本地震では被災者の避難所や仮設住宅から退去する際、大規模災害に乗じた悪質な事業者から不本意な契約を強いられる事態が多発したことから、令和2年7月に熊本県南部を襲った九州豪雨で被災された人吉市、相良村、球磨村のそれぞれの庁舎を訪問し、避難先から仮設住宅や新居に引っ越す被災者に「安心・納得」の引っ越しをしてもらうため、自治体の各担当者に部会長等から直接チラシ等を手渡して注意喚起の協力要請を行うとともに、引越事業者優良認定制度の周知を行った。

日 時：令和2年11月27日（金）10時00分～14時00分

場 所：人吉市役所、球磨村役場、相良村役場

〔労働対策委員会〕

1. 最重点項目

(1) トラック運送業界の働き方改革実現に向けた取組み **公益1-【2】-〈1〉**

① 働き方改革関連法への適切な対応

巡回指導や広報誌等を通じて、時間外労働の上限規制等働き方改革関連法の内容や対応策を周知するなど、積極的な対応を図った。

② 「トラック輸送における取引環境・労働時間改善熊本県地方協議会」の適確な運営
学識経験者、荷主企業、運送業者、関係団体等で構成される地方協議会の適確な運営について、中央協議会や熊本運輸支局及び熊本労働局と連携し対応を図った。

【熊本県地方協議会】

・第11回熊本県地方協議会

開催日時：令和3年3月 ※書面協議

開催場所：熊本県トラック協会 研修センター3階会議室

③ 「標準的な運賃」の活用に向けた積極的な周知

改正貨物自動車運送事業法に基づく「標準的な運賃」について、業界内外に対する意識啓発を目的に、県内約3,000社の荷主企業及び荷主団体に対する協力要請文書の発出を行うとともに、協会ホームページへ運賃表等の掲載を行うなどして、実効性ある活用に向けた普及促進に努めた。(再掲)

(2) 労働力・人材確保対策の積極的な推進 **公益1-【2】-〈1〉**

① 物流出前授業等の開催

高校や大学などを訪問し、物流キャリア教育、運送業界や免許制度についての説明を行い、次代を担う子供たちや優秀な若年労働者の育成と運送事業の社会的地位向上につなげることを目的とした物流出前授業を、次のとおり開催した。

ア 熊本学園大学 (オンデマンド授業) 〈生徒213名、教諭1名〉

開催日時：令和2年 7月16日 (木) 15時40分～16時30分

イ 熊本国府高等学校 〈生徒447名、教諭5名〉

開催日時：令和2年10月 7日 (木) 14時00分～16時50分

開催場所：熊本国府高等学校・体育館

ウ 熊本学園大学 (オンデマンド授業) 〈生徒 51名、教諭1名〉

開催日時：令和2年10月 8日 (金) 13時00分～13時50分

エ 開新高等学校（オンデマンド授業） 〈生徒 20名、教諭1名〉
開催日時：令和3年 2月26日（金）

オ 九州学院高等学校 〈生徒 18名、教諭1名〉
開催日時：令和3年 3月 9日（火）15時40分～16時30分
開催場所：九州学院高等学校・3号館大ホール

② トラック運送業界の企業合同説明会の開催 **公益1－【2】－<1>**

会員企業の採用力向上と労働力・人材確保対策のため「トラック運送業界の企業合同説明会」をWEB形式により開催した。なお、オンラインの環境が無い方向けに、同会場にてパブリックビューイングを設けることにより、より多くのマッチングの機会創出を図った。

開催日時：令和3年 2月13日（土）10時00分～16時45分

開催場所：グランメッセ熊本 2F大会議室

参加事業者：14社

WEB参加者：213名（延べ）

来場参加者：82名

③ トラック運送業界の魅力をPR

熊本中心市街地や公共施設の街頭ビジョンなどを活用し、一般消費者に対してトラック運送業界の社会的重要性を広くPRした。

○【放映ビジョン一覧】

- ・ WAO! ビジョン（熊本市通町交差点付近）
3ヵ月（令和2年11月1日～令和3年1月31日）
- ・ 市役所コミュニティビジョン5箇所
（中央区役所、東区役所、託麻総合出張所、玉名市役所、八代市役所）
12ヵ月（令和2年12月1日～令和3年11月30日）
- ・ COCOSAビジョン（下通りアーケード「COCOSA」前）
3ヵ月（令和2年11月1日～令和3年1月31日）
- ・ TSUKASAビジョン（サンロード新市街「つかさ新市街店」前）
3ヵ月（令和2年11月1日～令和3年1月31日）

④ お仕事探検フェア等への出展 **公益1－【2】－<1>**

高校生向けに、トラック運送業界の社会的役割と重要性等について、公益財団法人熊本県雇用環境整備協会が主催する「くまもとオシゴト探検・ジブン発見」に出展した。

また、公共職業安定所を利用していない若年層を主な対象とし、各業界の魅力を伝えるべく、熊本労働局主催により開催された「お仕事発見Day！」に出展し、業界の魅力PRを行った。

ア 「くまもとオシゴト探検・ジブン発見」への出展

公開期間：令和2年12月1日（火）～令和3年1月30日（土）

制作物：① 冊子「オシゴト探検book」…4,500部

② ワークシート集「ジブン発見Book」…4,000部

③ 動画「オシゴト探検MOVIE」

④ 専用サイト…上記①～③を掲載するサイト

対象者：約3,650名（高校1、2年生の配付希望者）

イ 「お仕事発見Day！～ここから始動しませんか？～」への出展

開催期日：令和2年11月29日（日）

開催場所：びふれす熊日会館 びふれす広場

来場者：5名

⑤ 高校新卒者等の採用促進のための総合的な対策 **公益1-【2】-〈1〉**

高校新卒者等の採用を促進し、若年ドライバーの確保を図るため、サマースクールやインターンシップ等を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点より中止した。

⑥ 外国人労働者の活用に向けた取り組み **公益1-【5】-〈1〉-（イ）**

労働力人口の絶対数不足に対応するため、外国人労働者の活用を一つの方策と捉え、トラックドライバーの技能に関する研究やその情報収集、具体的課題等について全ト協への働きかけを行った。

2. 重点項目

(1) 過労死等防止、健康状態に起因する事故及びメンタルヘルス対策の推進

① 過労死等防止・健康起因事故防止対策セミナー **公益1-【5】**

過労死等防止・健康起因事故防止セミナーや「運輸ヘルスケアナビシステム」活用及びSAS対策セミナーの開催や啓発資料等を通じ、過労死等防止並びに健康起因事故防止対策の普及・促進を図った。

開催日時：令和2年 8月26日（水）13時30分～16時30分

開催場所：グランメッセ熊本 2F大会議室

参加者：29事業所36名

講師：SOMPOリスクマネジメント(株) 専任講師

(2) 大型・中型・準中型・けん引免許取得助成 **公益1-【2】-〈1〉**

各種運転免許取得に係る費用に対する助成を行うことにより、若年ドライバーの確保及びドライバー不足の解消を図った。

また、会員事業者に在籍している運転者の他、免許取得後に会員事業者に入社する一般の運転者を対象に、大型・中型・準中型免許・けん引免許の取得費用の一部を助成し、雇

用の安定確保を図った。

助成件数

(内訳) 大 型	132名	9,233千円	
中 型	18名	900千円	
準中型	7名	210千円	
限定解除	7名	210千円	
けん引	35名	1,050千円	(10名：大型・牽引同一人物)
合 計	189名	11,603千円	(合計人数は重複を除く)

(3) 健康診断料の助成 **公益2－【2】－<12>**

運転中におけるドライバーの突発的な運転不能障害を引き起こす可能性が高い疾患を予防し、定期健康診断の受診率向上と有所見率の低下に向けて、会員事業所に勤務するドライバーを対象に生活習慣病予防健診、一般健診及び突発性運転不能障害疾患検査の助成を行った。

また、深夜業務等を行っている安全性評価事業認定事業所については、そのインセンティブである特定業務従事者（夜間従事者）のドライバーに対する健診料の一部を助成した。

助成件数	10,333名	<u>合計18,953,320円</u>
内、定期健康診断	8,552名	17,100,320円
Gマークインセンティブ助成	1,763名	1,763,000円
突発性運転不能障害疾患検査助成	18名	90,000円

(4) インフルエンザ予防対策等 **公益1－【2】－<2>**

トラックドライバーの新型コロナウイルス感染等により輸送車両がストップし、国民生活に不可欠な物資、エネルギー等の安定供給が滞る重大な事態とならないよう、蔓延防止その他のため、消毒液を会員事業者に配布した。

消毒液配布	<u>778事業者</u>
	<u>計1,430本（10ボトル630本、50ボトル800本）</u>
	<u>5,906,252円</u>

3. 全ト協と連携して行った項目

(1) 健康状態に起因する事故及びメンタルヘルス対策の推進 **公益2－【2】**

① 血圧計導入促進助成

<u>5社</u>	<u>5台</u>	<u>230,100円</u>
-----------	-----------	-----------------

② 睡眠時無呼吸症候群（SAS）スクリーニング検査助成

17社 152名 760,000円

(2) 厚生労働省委託事業「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」の推進

公益1-【5】

全ト協が国の委託事業として実施した「就職氷河期世代の方向けの短期資格等習得コース事業」（就職氷河期世代の求職者に対し、準中型、中型、大型のいずれかの運転免許取得とトラック運送業に関する基礎知識の講習等を提供し、トラック運送会社とのマッチングにより、正社員としての就職を支援するもの）に協力し、説明会を開催した。

① 求職者向け説明会

開催日時：令和3年11月19日（木）13時30分～14時30分

開催場所：（公社）熊本県トラック協会 旧館2階

参加者数：4名

② 事業者向け説明会

開催日時：令和2年11月19日（木）15時00分～16時00分

開催場所：（公社）熊本県トラック協会 旧館2階

参加者数：10事業所11名

③ 求職者向け座学訓練（物流基礎知識講習）

開催日時：令和3年 1月12日（火）13時00分～16時00分

開催場所：（公社）熊本県トラック協会 旧館2階

参加者数：3名

④ 職場体験会

開催日時：令和3年 3月 4日（木）14時00分～15時00分

開催場所：熊本交通運輸㈱本社営業所

参加者数：2名

(3) 労働災害防止の推進 **公益1-【5】**

広報等の活用を通じて、荷主先を含めた労働災害の発生状況などの実態を調査分析・把握するため、陸上貨物運送事業労働災害防止協会等関係機関と連携を図りつつ、第13次労働災害防止計画（2018～2022）を踏まえた労働災害防止に取り組んだ。

令和2年度事業報告

〔専門部会〕 公益1-【5】-〈1〉-〈ク〉

現在設置されている8部会において、輸送秩序の確立や、事業経営の円滑化等共通の項目について推進を図った。

なお、本年度の各部会の活動は次のとおりです。

1. 食料品部会

- (1) 令和2年 5月29日(金) 農林水産省九州農政局・農産物等の物流効率化に関する要望
- (2) 令和2年 5月29日(金) 厚生労働省熊本労働局・農産物等の物流効率化に関する要望
- (3) 令和2年 7月28日(火) 書面開催・全ト協第41回食料品部会
- (4) 令和2年 8月19日(水) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (5) 令和2年 9月※開催中止 ~~福ト協食料品部会全体会議及び実務担当者研修会~~
- (6) 令和2年10月26日(月) JA熊本経済連第二園芸集送センター・選果場視察
- (7) 令和2年10月26日(月) 熊ト協会議室・第1回九州ブロック食料品部会
- (8) 令和2年10月26日(月) 熊ト協会議室・九州農政局との意見交換会
- (9) 令和3年 1月19日(火) 熊ト協会議室・第2回部会員会議 ※書面協議
- (10) 令和3年 3月※開催中止 ~~九州各県食料品部会全体交流会~~

2. 木材輸送部会

- (1) 令和2年 8月20日(木) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (2) 令和2年10月10日(土) ホテルレクストン鹿児島・南九州四県合同部会長会議
- (3) 令和2年10月29日(木) 熊ト協会議室・第2回部会員会議
- (4) 令和2年11月13日(金) ホテルレクストン鹿児島・南九州四県合同全体会議
- (5) 令和3年 1月21日(木) 書面協議・第3回部会員会議

3. 重量物輸送部会

- (1) 令和2年 4月22日(水) 書面協議・全ト協重量部会常任委員会
- (2) 令和2年 6月16日(水) 書面協議・全ト協重量部会通常総会
- (3) 令和2年 8月18日(火) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (4) 令和2年11月※開催中止 ~~全国実部担当者研修会~~
- (5) 令和3年 2月12日(金) 書面協議・第2回部会員会議
- (6) 令和3年 2月16日(火) ※開催中止 ~~全ト協重量部会経営者研修会~~

4. ダンプトラック部会

- (1) 令和2年 8月21日(金) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (2) 令和2年 8月24日(月) 書面協議・第44回全ト協ダンプトラック部会
- (3) 令和3年 1月21日(木) 書面協議・第2回部会員会議
- (4) 令和3年 3月※開催中止 ~~ダンプトラック部会長会議~~

5. 引越部会

- (1) 令和2年 7月15日 (水) 書面協議・第49回全ト協引越部会
- (2) 令和2年 9月14日 (月) 熊ト協会議室・第1回部会員会議
- (3) 令和2年10月19日 (月) 書面協議・第2回熊ト協部会員会議
- (4) 令和2年11月27日 (金) 豪雨災害被災者への引越に関する啓発活動の実施
- (5) 令和2年12月 2日 (水) 第50回全ト協引越部会
- (6) 令和3年 1月20日 (水) 書面協議・第3回熊ト協部会員会議

6. セメント部会

- (1) 令和2年 8月11日 (火) 書面協議 第38回全ト協セメント部会
- (2) 令和2年 8月26日 (水) 熊本県トラック協会城南支部会議室・第1回部会員会議
- (3) 令和2年10月23日 (金) オンライン・全ト協ワーキンググループ報告会
- (4) 令和2年11月※開催中止 ~~九州四県合同セメント部会~~
- (5) 令和3年 1月19日 (火) 書面協議・第2回部会員会議
- (6) 令和3年 3月 9日 (火) オンライン・全ト協セメント部会生コン部会合同研修会

7. 青年部会継運会

(1) 会議関係

- ① 総会
 - 令和2年 4月24日 (金) 書面協議
- ② 正副部会長会議
 - 令和2年 6月 4日 (木) 県ト協
 - 令和2年 6月29日 (月) 県ト協
 - 令和2年 8月28日 (金) オンラインZOOM
 - 令和2年11月 6日 (金) オンラインZOOM
- ③ 部会役員会
 - 令和2年 6月29日 (月) 県ト協
 - 令和2年 8月28日 (金) オンラインZOOM
 - 令和2年11月 6日 (金) オンラインZOOM
 - 令和3年 2月 3日 (水) オンラインZOOM

(2) 研修会及び交流会関係

① 青年部会セミナー

- ア 令和2年8月19日 (水) オンデマンド (YouTube)
 - アフターコロナと働き方改革への対応 ～変化、ダーウィンの進化論～
 - 物流事業者として生き残ろう！～正直者が馬鹿をみない業界への変化～
 - 講師 (一社)クオリティオブライフ創造支援研究所 理事長 森田 司 氏
- イ 令和2年8月26日 (水) オンライン (ZOOM)
 - 2021年4月1日施行 働き方改革関連法 同一労働同一賃金制度を学ぶ
 - 講師 (一社)クオリティオブライフ創造支援研究所 理事長 森田 司 氏
- ウ 令和3年2月3日 (水) オンライン (ZOOM)
 - 運送業界最新動向と2021年に取組むべきこと
 - with/afterコロナ時代を勝ち抜く 運送会社の経営戦略セミナー
 - 講師 船井総研ロジ株式会社 物流ビジネスコンサルティング 部長 河内谷 庸高 氏

Withコロナの時代におけるセミナーとして、専門講師を招聘し、部会員のスキルアップを図った。

- ② 先進企業等視察 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

(3) 全国物流青年経営者中央研修会等への参加

- ① 全国代表者会議 (部会長等参加)

令和2年 8月 4日 (火) オンラインZOOM

令和2年11月16日 (月) オンラインZOOM

令和3年 2月18日 (木) オンラインZOOM

- ② 九州ブロック大会 ※コロナウイルス感染拡大防止のため中止

令和2年 1月24日 (金) 長崎 ※中止

- ③ 全国大会 令和3年 2月19日 (金) YouTube

(4) 九州地区運輸青年部連絡協議会役員会

(公社)全日本トラック協会・九州ブロック大会を充実した大会にするため、各県の役員(正副部会長)で開催内容等について、検討を行い、今年度は中止を決定し、翌年度(令和3年度)に長崎で開催する旨決定した。

- ① 令和2年 5月12日 (火) 会長会議 オンラインZOOM

- ② 令和2年 7月31日 (金) 役員会 オンラインZOOM

- ③ 令和2年10月 7日 (水) 会長会議 県ト協

- ④ 令和3年 1月13日 (水) 会長会議及び役員会 ※中止

- ⑤ 令和3年 3月22日 (月) 会長会議及び役員会 福岡

(5) 他県トラック協会青年部及び異業種との交流会

- ① 自民党青年局との意見交換会を開催し、業界の現状共有と今後に向けた交流を行った。

ア 令和元年11月18日 (月) TKPガーデンシティ熊本

- ② 他県トラック協会青年部と交流を深めた。

ア 令和2年 8月 9日 (金) 鹿児島・宮崎青年部との3県交流会

- ③ 熊本県中小企業団体中央会青年部協議会を通じて異業種交流会へ参加し交流を深めた。

ア 中小企業団体中央会青年部協議会総会 (参加者5名)

令和2年 6月24日 (水) 熊本ホテルキャッスル

イ 若手経営者研修会

令和2年11月24日 (火) ホテル日航熊本・WEB併用

(6) 被災者支援

- ① 令和2年8月6日 (木)

豪雨災害の被災者支援活動として、芦北、津奈木地区の災害ボランティア活動を行った。

- ② 令和元年台風15号・19号に係る被災者支援DVDの送付

義援金の一部を活用し、全ト協が作成した「災害を乗り越え世の中に貢献するトラック運送事業者を応援するDVD」について、部会員へ送付を行った。

(7) 協会本部・支部と連携して行った活動

① 「トラックの日」関連事業

ア 「トラックの日」PR

青年部会をはじめ、総務交付金運営委員や女性部会の委員構成による実行委員会において、コロナ禍における今年度のPRイベントの協議を行い、令和2年7月の豪雨災害の復興や新型コロナウイルスの収束を祈念し、その象徴となる「負けんばい熊本！」ステッカーを作成配布し、会員企業の各車両に掲示を行った。

イ 環境クリーンキャンペーン

各支部で行う主要道路や公園等の清掃活動に積極的に参加した。(10月)

② 物流出前授業の開催

若年労働者の育成と国内輸送の9割を担う業界の重要性に対する理解促進を目的に受け入れ希望のあった高校において開催した。(5校)

ア 令和2年 7月16日(木) 熊本学園大学 ※オンデマンド授業

イ 令和2年10月 7日(水) 熊本国府高校 生徒470名受講

ウ 令和2年10月 8日(木) 熊本学園大学 ※オンデマンド授業

エ 令和3年 2月26日(金) 開新高等学校 ※オンデマンド授業

オ 令和3年 3月 9日(火) 九州学院高等学校 生徒18名受講

③ くまもとオシゴト探検・ジブン発見への情報提供

高校生向けに開催されたお仕事探検フェアへ出展し、若年労働者の育成と国内輸送の9割を担う業界の重要性に対する理解促進に努めた。

④ 各種講習会・セミナー等

協会本部の主催するセミナー・講習会に参加し、必要な知識の理解促進と受講者間の人的ネットワークの醸成に努めた。

8. 女性部会(肥後六花会)

(1) 会議関係

① 令和2年 7月 2日(木) 九州ブロック女性協議会 第1回役員会 Web会議

② 令和2年 8月13日(木) 全日本トラック協会女性部会 全国代表者協議会(書面決議)

③ 令和2年 9月11日(金) 九州ブロック女性協議会 第2回役員会 Web会議

④ 令和2年 9月18日(金) 熊ト協会議室 第1回女性部 会参加者:部会員11名

⑤ 令和2年11月25日(水) 熊ト協会議室 九州ブロック女性協議会 Web研修会

⑥ 令和3年 2月15日(月) 熊ト協会議室 第2回女性部会(書面決議)

⑦ 令和3年 3月 4日(木) 九州ブロック女性協議会 第3回役員会 Web会議

⑧ 令和3年 3月25日(木) 福ト協会議室 九州ブロック女性協議会 第4回役員会

(2) その他

① 令和2年8月3日(月)

令和2年7月豪雨に対する対応～女性部会から人吉市への支援物資寄贈～

場 所:人吉市役所(仮庁舎 人吉スポーツパレス)

対 応：人吉市 松岡隼人市長

女性部会 竹下部会長、上田副部会長、（事務局随行）

支援物資：軍手、作業用手袋、ビニール手袋、使い捨てマスク